

トコナツ歩兵団

TOKONATS^H



川越街道 活用計画 基本構想2018 0919



【川越街道の方向性】

史跡绘園〈観光名所

(現状)

- ・補助金を入れた「保存・整備」では「展示・見学」が中心で、 「ヒト・モノ・カネ」の流れは作れない。
- ・復元施設を建てられず遺構だけが残り駐車場になっている。



(未来1 史跡公園)

・復元施設(展示)と遺構(駐車場 or 番小屋跡)が残り、学術研究者やマニアが訪れる。

(未来2 観光名所)

・エントランスゾーンのインフォメーションセンターやカフェ、土産物屋などで観光客をお迎えし、「保存・整備」された川越街道で歴史を「伝え・体験」する。





【川越街道が現実的な方向性】

- (1)補助金を投入し「保存・整備」してきた史跡の部分 今後も補助金を獲得しながら「保存・整備」を進める。 「活用」は制限されるが、制限の中で最大限の活用を図っていく。
- ex.団体向けに仕出し弁当を番宿内にて提供。 体験学習を番宿内にて提供。
- (2)補助金が投入されていない部分

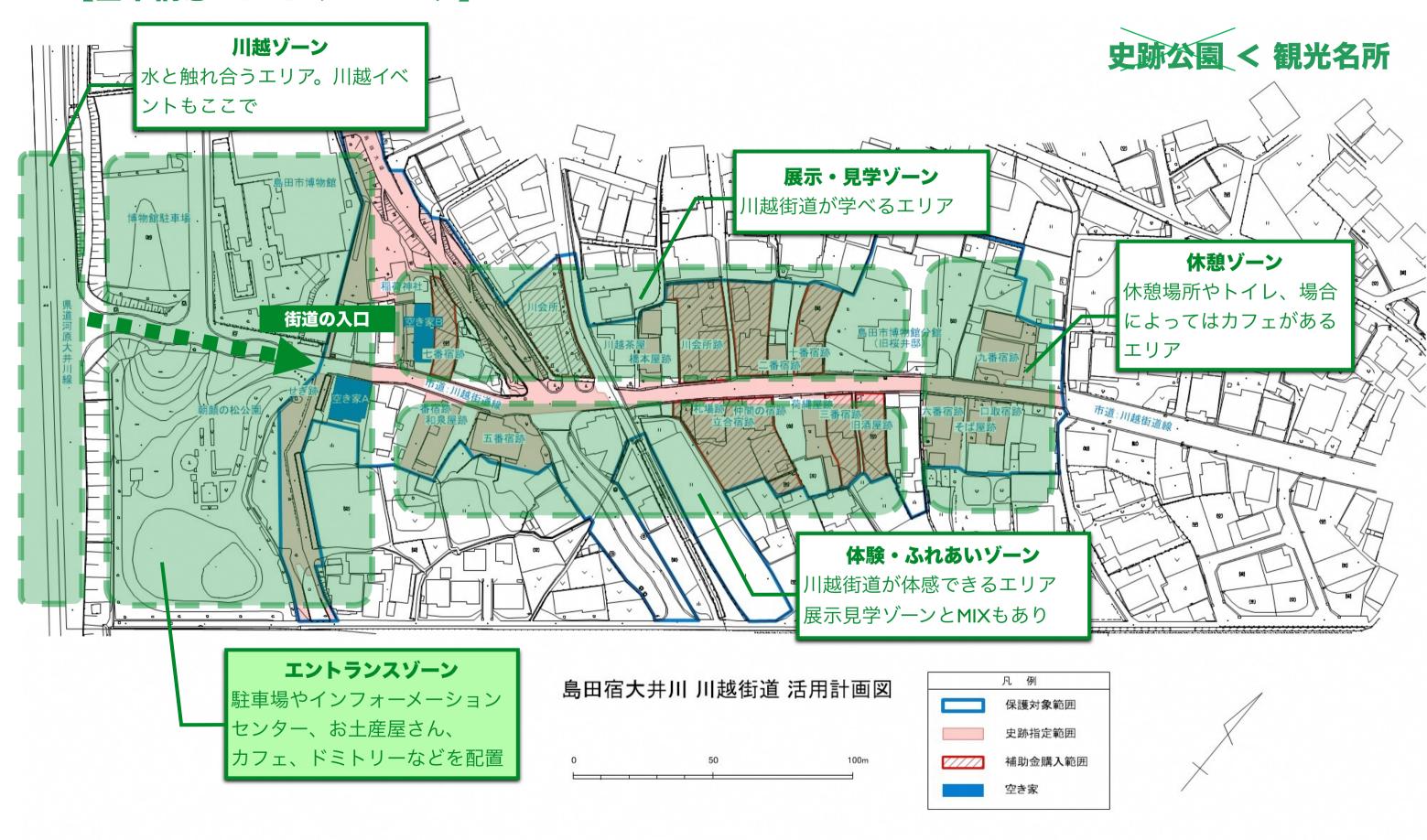
特に川越街道のエントランスと位置づけたエリアを中心に、「観光的な活用」を進める。 ココで賑わいを作り出し、街道に観光客を呼ぶことで「ヒト・モノ・カネ」の流れを作る。 最終的には博物館の展示のリニューアルに繋げる。

ex.観光案内所を併設したカフェ、お土産屋、ドミトリーなど





【基本構想2018 ゾーニング】







【基本構想2018 スケジュールと考え方】

